

●受難節第三主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第二十六編」

主よ、あなたの救いを望みます。

わたしは完全な道を歩いてきました。

主に信頼して、しるめいたことはありません。

主よ、わたしを調べ、試み

はらわたと心を火をもって試してください。



## 悪しき者からは悪しきものが

キリストが悪霊を追い出していました。その時の悪霊は人の中に入って口を利けなくする悪霊でした。主はその人を憐れに思い、悪霊を追い出すと、喋られるようになったのです。それを見た人々は驚いていました。ところが、「この男は悪霊の頭ベルゼブルの方で悪霊を追い出している」と言う者がいたので、よいものをよいものと、神の方を神の方と見ることのできない、ねじれた心です。特に「神の方」を悪霊の方と言う彼らの解は、キリストのみならず、天の父と聖霊への侮辱の言葉を発していることも知らないのです。恐ろしいことです。何も見えず、分らないければ「分らない」という事実で止まるのが最低限必要な知恵と思わされるのです。

悪霊が追い出されるのを見て、主を試そうとして天からのしるしを求める者もいました。人を憐れに思うキリストの人柄を見ようとするのではなく、なぜこの人からこの力、この知恵が出てくるのかと、執拗に知りたいという心ではありません。試すためです。どこか間違ったところを探したかったのです。真のある心、曲がった心です。天の国とは違ひのです。

何より重要なのは、御用とは悪い、ねじれた、曲がった心でも、そういった自分自身に気づく用意があるか、そのために語られる御言葉に耳を傾ける用意があるか、ということなのです。

主は、人から出て行った汚れた雲が休む場所がなく、「出てきた我が家に戻るう」と言って戻った話もされました。戻ってみると家は掃除されて、自分よりも悪いほかの七つの雲を連れてきて住み着く。するとその人の状態は前よりも悪くなるという話です。実際に悪霊を追い出すと、同じ人に戻ってくることはありません。掃除されたとは、心がよくなったという意味ではありません。「汚れた雲」が住みつきやすい、「汚れた

状態」になったことです。更にこの話は邪悪な時代、邪悪な人々についての比喩でもあります。

キリストにある神の力を悪霊の力と見ていたねじ曲がった、悪しき心の人たち、彼らは悪霊とまっくらな性質を持っているため、汚れた雲が彼らに住み着きやすく、しかも住み着いてもそれにすら気づかないのです。それです。悪くなるのです。実に彼らは悪霊の友、味方になっていても、それに気づかないのです。その反面、悪しきものが近づけない心の人があります。神の御前で全き心、曲がったことを知らない、まっすぐで、裏のない、偽りなき、真実の心です。キリストの心です。悪しき霊どもは責えて、叫び声をあげながら、逃げて行くのです。

良い木はよい実を結び、悪い木は悪い実を結ぶのです。ねじれた、曲がった心の者は、ねじれたことを言います。曲がったことを行います。彼らは悪い木です。悪い木は悪い実を結んでいても、自らを悪い木と思わないのです。視念に自分を良い木と思うのです。主に、「この男は悪霊の頭の方で悪霊を追い出している」と言っていた人たちは、自分たちを悪しき者と思っていないのです。キリストを「悪い」と見て、自らを「よい」としていたのです。自分自身を見る目も曲がっているのです。

現実には悪い実を出しているなら、自らを悪い木と真実に見る人には希望があります。神はそのように真実に近づけるには慈しみを示されるからです。実にキリストはその者のために来られた方です。その方の全き心があらわされた十字架は、そのような罪人、医者が必要とする者たちには福音、神の力です。その完全な癒しの力を信じ、求める人は幸いです。その人はきよめられるだけではなく、キリストに倣って、キリストからのよいものを入れて生きる飯のような人です。そのよい飯から、よいものを取り出して生きる人です。よい実を結ぶ人です。そのためには、まず、何より重要なのは耳に稀い話でも真実に医者であるキリストの御言葉を受け入れ、それに耳を傾けることです。

## 吹き起こす

それゆえ私があなたに想い出させるのは、私  
が手を掲げてあなたの内に備えた御の賜物  
(カリスマ)をあなたが呼び覚ます(吹き起こ  
す)ことです。

テモテへの手紙② 一章六節

父よー火の中からあなたはあなたの民に

お語りになりました。

御子よー火を投げこむため、あなたは地上と

おいでになりました。

御霊よー炎の輝きをもって、あなたはペンテ

コステの教会の人々の頭を飾られま

した。

父よー御子よー御霊よ、

あなたはかつて飲み尽くす火であり、今も、

これからも火であられます。

やけどを負う不安を取り去ってください。

わたしの唇の皮膚病を焼き取ってください。

感謝のない心を灰にし、

わたしをあなたのために

燃え上がらせてください。

わたしを飲み尽くしてください。

父よー御子よー御霊よ、

あなたの到来に逆らうもろもろの宗教の

バリケードに火を放ってください。

教会や礼拝堂の中の偽善や嘘を

焼き尽くしてください。

そしてわたしの祈りが、あなたの御前で、

またあなたの聖なる天使たちの前で

御心になわかないものでしたら

それを燃やし尽くしてください。

パウロはこの形象を小さな炎から取った。

それは、熱心によいことを用い、薪を載せて、

再び吹き起こさないと、かき消えてしまっ

たろう。我々は思い起こさねばならない。

神の賜物は用いられなければならず、用い

られず引き留められたまま焼き網にかけら

れてはならないのだ。

カルヴァンの言葉

R・ポレン著 「祈る」より

祈りは楠原博行氏の訳による

## 今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行して、ロビーでコ  
ヒーサーブスがあります。園舎二階のリズム室で  
は、ぶどうの会が開かれ、礼拝で受けた恵みの分  
ち合いをします。

○第二礼拝後ホールで讚美と報告の会をします。お  
昼はお弁当です。

○昼食後、レント感想発表の会をホールで行います。

教会員が一年間に受けた恵みの証しをします。ど  
なたでもご参加ください。

○感想発表の会に引き続き、各奉仕単位の責任を負  
う委員の選挙を行います。教会員はホールにお集  
まりください。

○今年の八月一日(木)く五日(月)、姉妹教会の  
コイノニアキャンプが品川教会で行われます。案  
内を状差しに配布しました。どうぞ多くの方が参  
加して、姉妹教会の兄弟姉妹と交わってください  
ますように。またこのキャンプを支えるために献  
金をお願いします。

○コイノニアキャンプで着用するポロシャツの販売  
を始めました。ご案内と申込書はロビー掲示板に  
あります。お早めにお買い求め下さい。イースター  
まで受付いたします。

## 四国だより

向春の日々、梅の花のほころぶ季節となりました。今年はまだ雪も見ず、なんとかしのげる冬となりました。インフルエンザが流行し、西条市は警戒レベルが高いのですが、主のお守りの中で皆、元気に過ごしております。

一月の教会報告としては特別なものはないのですが、先日二月の十日頃にうれしい出来事が有りました。

昨年十一月九日と十四日まで「教会作り研修会」に招いていただいたT教会より、「三月に教会で特別な祈り会が開かれます。田端先生の教会の為に祈りしたいので、祈りのテーマを三つお願いいたします」との事にびつくり致しました。あれ程にお世話になりましたのに、今も祈りの中に覚えて下さっていたと感動致しました。日曜礼拝の後で皆さまと相談し、恐縮の内に三つのリクエストをお送り致しました。

①主の福音を心から喜んで、信じ、正しく救われる人々が続々と起こされます様に。  
(ヨハネ三章一六節を祈りつつ)

②雲の戦いに常に勝利し、みことばが実現している教会であります様に。霊と心と体の祝福の内に生かされます様に。(イザヤ卅九章五と六節を信じ祈りつつ)

③教会員の全てが自我に死にきって主イエス様の御品格の中に生かされ、みことばにかなった成長をさせていただけれます様に。(ガラテヤ書二章十九と二十一節を信じ祈りつつ)

二〇一九年二月二十一日 田端良恵

## 聖書の会

●今学期は終了致しました。

来学期は、4月10日(水)から始まります。

## 次週礼拝

●第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 1159番 1178番

説教 関夜に輝く光

聖書 ルカ9章28と36節

説教者 菊池 美穂子 副牧師

●第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 139番 338番

詩篇 26篇

説教 信仰による義に基づいて

聖書 ローマ4章13と17節

説教者 吉村和雄 牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 II 59

II 78

説教 「自分を捨てて」

聖書 ルカ9章18節～27節(新約 P122)

司式 石川一兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池美穂子 副牧師

前奏曲「ペテロのごとく」 J.S.バッハ

○ II 59 「すべてのもの統らすかみよ」

1. すべてのもの統らすかみよ

み名をたたえ ほめうたささぐ

みめぐみゆたけく 正義みつる

かみこそわれらの盾、また巖

2. よろこびもてささげまつる

うたはたかく みくらにとどき

ものみなどよみて こたえうたわん

「かみにぞみさかえ ときわにあれ」と

3. わが主イエスにしたがいゆき

こころひくく 日あてはたかく

この世にわが主のみ旨のなる

その日をのぞみてわれらいそしまん アーメン

○ 歌とピアノによる讃美

「君もそこにいたのか」

○ II 78 「イエスさまが教会を」

1. イエスさまが教会を この世から選びとり

あたらしい契約を たてられた日のように

きょうもまた主の前に家族みなあつまって

みめぐみに結ばれたこの家をささげます

2. 神さまを父と呼び イエスさまを主とあがめ

み言葉の種をうけ み教えの水をのみ

いつの日も愛し合い いつの夜も助け合う

この家のさいわいを こころから祈ります

3. 主のみ手に守られて みなともに成長し

こどもらがこの家を 築立ちゆく その日にも

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 142番 304番

詩篇 第26編(旧約 P856)

説教 「割礼がなくても」

聖書 ローマ4章9節～12節(新約 P278)

司式 石川一兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「イエスキリスト我らの救い主」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 142番

○ 歌とピアノによる讃美

「君もそこにいたのか」

○ 聖歌隊による讃美

「み使いどりて」 G.A.コーン

ひとり 十字架負い 歩みゆく主

全ての人に自由 与えるため

この世の十字架を 我らも負い  
みあと踏みゆかん 旅路終わるまで

ああイエス 我が主 われ待ち望む  
み使いくだりて 救い来る日

尊き主の十字架 栄光の冠

甦りの日 救いの日よ

ああイエス 我が主 われ待ち望む

み使いくだりて 救いあらわる日 甦りの日

○ 讃美歌 304番

聖餐曲「いかに空しき、いかにほかなき」 H.ライツ

後奏曲「フーガハ短調」 J.S.バッハ

愛の主よ みすくいの よろこびをあかして  
かぎりなくみこころに そうものとしてください

アーメン

聖餐曲「ジムノペディ第1番」 E.ザイ

後奏曲「フーガハ短調」 J.S.バッハ